

R2. 1. 8C KD 重症化予防対策検討部会の概要

CKD 重症化予防対策の当面の取組の方向性

令和3年度からのすべての市町村国保が健診から対象者を抽出し「CKD 対策協力医(仮称)」へ紹介できるよう、令和2年度は基盤整備に取組む。

1 市町村の特定健診の取組推進

- ・すでに特定健診結果から CKD 重症化ハイリスク者を抽出し、受診勧奨等実施している26市町村は取組を継続してほしい。当部会は、千葉県全体の CKD 重症化対策のボトムアップを目指しており、対策がまだ始められてない市町村にもおいても速やかに対策が始められる基盤を作ること为目标とする。
- ・対象者は40歳代から70歳をターゲットにする。
(高齢化とともに80歳以上の男性の新規人工透析導入者は増加し、後期高齢者健診でも検査は実施しているが、まずは特定健診の対象年齢層に対策を行い、10-20 年後の腎不全患者数の減少を目指す。)

2 抽出基準(案)

- ・日本腎臓学会の基準を踏襲し、健診からの対象者抽出や腎臓専門医紹介基準を作成する。すでに各々の案について今後腎専門医間で協議し決定予定。
- ・受診勧奨通知についても現在の案をもとに腎専門医間で協議する。

3 CKD 対策協力医(仮称)の創設について

- ・市町村が国保特定健診結果から抽出された対象者に「受診勧奨先」として紹介する。

要件:①健診結果に基づき、必要に応じ実施すべき検査を適切に行うこと

(アルゴリズム配布予定)

②腎専門医への紹介基準にのっとり対応をしていただくこと

③eGFR シール等を参考に行われる薬剤師からの疑義照会に対応していただくこと

- ・講習会等の受講を要件とはせず、上の要件を確認して申請する方法を考えている。(今澤先生案)・・・通知方法や申請方法については医師会と要協議
- ・CKD 対策協力医は、糖尿病性腎症重症化予防と一体とするか、別とするのがいいかも要検討(医師会及び千葉県糖尿病対策推進会議と要協議)

4 薬局から医療機関への疑義照会

- ・松戸市で開始、医療機関での検査結果を見せてもらった場合お薬手帳にシールを貼付し意識付けと共に、疑義照会に活用

<イメージ図>

